

水防訓練：「水防工法実技訓練」を関係機関と連携して実施【減対策協議会 8機関】

◆洪水時における円滑な水防活動の推進を図るとともに、防災関係機関の水防体制の強化に資することを目的に、蘭越町主催による「蘭越町水防工法実技訓練」を実施しました。
訓練は、蘭越消防団(水防団)による水防工法の実技、災害対策用排水ポンプ車の運転、見学者を含め防災意識の向上を目的とした水防災に関するパネル展示を行いました。



訓練の概要

- ◆実施日時：平成29年6月16日(金) 9:30～11:30
- ◆場 所：蘭越町 尻別川河川公園
- ◆参加者：蘭越町、蘭越消防団、蘭越建設協会、羊蹄山ろく消防組合、北後志消防組合、後志総合振興局、北海道札幌方面倶知安警察署、小樽開発建設部 計 8機関 151名(うち水防団90名)

水防工法実技訓練の様子



水防団整列



月の輪工



排水ポンプ車訓練



積み土のう工



工法確認指導



パネル展示

・水防団をはじめとする参加者は、真剣な表情で実践さながらの実技訓練に取り組みました。

水防とは

洪水時には、河川管理者が整備している堤防等の治水施設の効果とあわせ、市町村の地域住民が実施する水防活動によって、洪水被害の拡大を防いでいます。水防とは自らの地域を自らの手で守る自衛の減災活動であり、その中心となるのが水防団です。

洪水の際に堤防から水が溢れ出る(越水)、水の流れて削られる(洗掘)、亀裂、崩壊、堤防もしくは地面からの水漏れ(漏水)などによる被害の拡大を防ぐための様々な水防工法があります。

共同点検：夏期の出水に備え「水害リスクの高い箇所の共同点検」

を関係機関と連携して実施【減対策協議会 7機関】

◆尻別川減災対策委員会では、大雨や台風による洪水に備え、水防活動の効率化及び水防体制の強化を図ることを目的に「水害リスクの高い箇所の共同点検」を実施しました。
点検は、尻別川の国管理区間において、洪水が発生した際に大きな被害が想定される蘭越町市街地を中心に、**流下能力の不足により越水被害のおそれがある重要水防箇所や危険箇所、想定される浸水区域等の確認**を行い、水害リスクを共有しました。



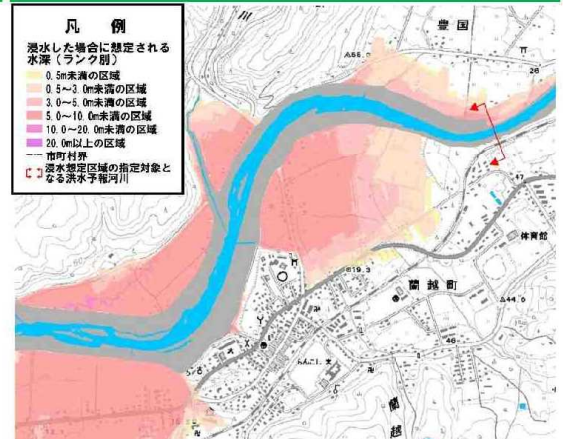
点検の概要

- ◆実施日時：平成29年6月16日(金) 13:00～14:30
- ◆場 所：蘭越町 尻別川豊国橋周辺
- ◆参加者：蘭越町、後志総合振興局、小樽建設管理部、北海道札幌方面倶知安警察署、北海道電力株式会社、小樽開発建設部 計 7機関 16名

共同点検の様子



浸水想定区域図(蘭越町市街地)



防災訓練：堤防の決壊や越水等に伴う氾濫に備え

「水害タイムライン検討会」を関係機関と連携して開催【減対策協議会 7機関】

◆尻別川減災対策協議会は、尻別川における堤防の決壊や越水等に伴う氾濫に備え、協議会において策定した「尻別川の減災に関する取組方針」に基づき、自治体や河川管理者などの関係機関がとるべき行動をあらかじめ定めた、蘭越地区の「水害タイムライン」を作成することを目的に、第2回検討会を開催しました。



◆実施日時：平成29年12月1日（金）13:30～16:00

◆場 所：蘭越町民センター らぶちゃんホール

◆参加者：蘭越町、後志総合振興局地域創生部・小樽建設管理部、北海道札幌方面倶知安警察署、羊蹄山ろく消防組合、陸上自衛隊北部方面対舟艇対戦車隊、札幌管区気象台、小樽開発建設部 計 8機関 24名

タイムライン検討会の様子



第2回検討会では、前回の検討結果を踏まえて整理したタイムラインについて、時間経過に則ったロールプレイング形式で疑似体験する検証訓練により各機関の防災行動の内容やタイミングの確認・見直しを行い、精度向上・充実を図りました。

参加した各機関からは、「不足している行動や順序の違いが確認できた。」「他機関の動きを把握することにより、情報伝達のタイミングが確認できた。」等の意見が出ました。

※タイムラインとは、

災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、**防災行動（災害発生前に実施する災害応急対策）**とその実施主体を時系列で整理したものです。

尻別川蘭越地区水害タイムライン 概要

時間	防災関係機関	防災行動
災害発生時	北海道札幌方面倶知安警察署	災害発生を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後10分以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後15分以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後30分以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後1時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後2時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後3時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後4時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後5時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後6時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後7時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後8時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後9時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後10時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後11時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後12時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後13時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後14時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後15時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後16時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後17時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後18時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後19時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後20時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後21時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後22時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後23時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する
災害発生後24時間以内	小樽建設管理部	堤防の決壊や越水を確認し、関係機関に連絡する

周知・教育：住民への水防災意識啓発のための広報活動

【小樽開発建設部、蘭越町】

◆尻別川減災対策協議会は、7月30日（日）に開催された「蘭越せせらぎまつり」会場において、地域住民の水防災意識向上を目的とした「広報活動」を実施しました。

広報活動は、過去に尻別川で発生した洪水や昨年の道内における台風被害、水防災に関わる「パネル展示」、実際の洪水の状況を体験できる地下浸水体験装置を使った「浸水体験」、災害対策用機械（排水ポンプ車）の展示・実演を行いました。



広報活動の概要

◆実施日時：平成29年7月30日（日）9:30～15:00

◆場 所：蘭越町 尻別川河川公園 蘭越せせらぎまつり会場



パネル展示の様子



浸水体験の様子



排水ポンプ車実演の様子



◆尻別川減災対策協議会は、「減災に関する取組」のソフト対策の一環として、地域の住民を対象とした「防災意識向上のための防災講演会」を開催しました。

講演会は、「気象情報の有効な使い方」と題して、北海道テレビ放送(HTB)の「イチオシ！モーニング」でお天気コーナーを担当している気象予報士の清水秀一氏に御講演をいただき、大雨などの災害時における心構えや安全な行動を学習し防災意識の向上を図りました。



開催案内

防災講演会 2017 10月20日(金) 17:30~18:45
参加費 無料
会場 蘭越町民センター (らぶちゃんホール)
テーマ 「気象情報の有効な使い方」
川が増水 雨やんがさらけ! 雨やんがさらけ!
講演者 清水秀一氏
「気象情報の有効な使い方」

防災意識向上講演会の様子



講演会の概要

- ◆実施日時：平成29年10月20日(金) 17:30~18:45
- ◆場所：蘭越町民センター らぶちゃんホール
- ◆講師：気象予報士・防災士 清水 秀一 氏
- ◆参加者：蘭越町他住民 約90名

参加した住民からは、「スマートフォンで簡単に入手できる防災情報が、たくさんあることを知りました。」
「気象情報を自ら収集して、防災に役立てたい。」などの声が聞かれました。

◆小樽開発建設部と後志総合振興局は、「尻別川の減災に関する取組」のソフト対策の一環として、蘭越町の中中学生を対象とした防災学習を実施しました。中学生が避難所を運営する立場となり避難者を受け入れ、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを『避難所運営ゲーム(HUG)北海道版(Doはぐ)』を用いて模擬体験することにより、災害に対する心構えや災害発生時の対応を学習しました。



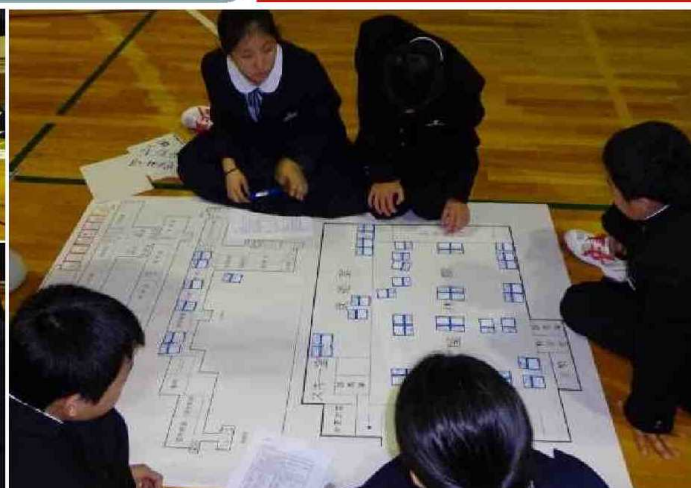
防災学習会の概要

- ◆実施日時：平成29年10月10日(火) 13:25~15:15
- ◆場所：蘭越中学校 体育館
- ◆参加者：蘭越中学校 1年生 36名、教員・講師・その他 19名 合計55名

～『避難所運営ゲーム(HUG)』

北海道版(Doはぐ)とは～

静岡県が開発したHUGに、北海道の気候や東日本大震災の経験などの観点を加え、避難所生活や避難所運営を自分の事としてとらえ、地域防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に、静岡県の使用許諾を得て北海道が作成したものです。



◆参加した生徒の感想

- ・避難してきた人にはそれぞれ事情があるので、避難所のどこに配置するか考えるのが難しかった。特に、病人や動物の配置が大変だった。
- ・限られた数の食料や飲み物をいつどのように割り振るか難しかった。
- ・すごく難しかったけど、楽しく災害時の対応を学ぶことができた。
- ・他の班と違う考えになったのは面白かった。
- ・とても良い経験ができた。実際の避難所でも役に立つと思う。